

Safety Data Sheet (EC)No.1907/2006 準拠

Livos BIVOS Oil Wax ビボス

製品番号：375

2016年7月25日 初版

| | | | | |
|----------------------|--|--|--------|------------------|
| 1. 基本情報及び会社情報 | | | | |
| 1-1. 基本情報 | 製品名 | Livos BIVOS Oil Wax ビボス 製品番号：375 | | |
| | 製造者 | LIVOS Pflanzenchemie Forschungs- und Entwicklungs GmbH & Co. KG | | |
| | 住所 | Auengrund 10 D - 29568 Wieren | | |
| | 電話番号 | +49(0)5825-88-0 | FAX | +49(0)5825-8864 |
| | e-mail | info@livos.de | | |
| 1-2. 使用用途 | 分類 | 概要：オイル塗装されたフロア、家具の保護、メンテナンス用 蜜蝋オイルワックス 適用：内装用木部（家具、フロアなど） | | |
| | 補足 | 特になし | | |
| 1-3. 緊急時の お問合せ先 | お問合せ先 | 株式会社イケダコーポレーション | | |
| | 電話番号 | 06-6452-9377 | | |
| 1-4. 輸入業者 | 会社名 | 株式会社イケダコーポレーション | | |
| | 住所 | 〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島4丁目8-28 FJビル3F | | |
| | 電話番号 | 06-6452-9377 | FAX | 06-6452-9378 |
| | HP | www.iskcorp.com | e-mail | info@iskcorp.com |
| 2. 危険有害物の要約 | | | | |
| 2-1. 物質または 混合物の分類 | 混合物は、(EC)No.1272/2008 準拠により、危険物有害性物質には分類されない。 | | | |
| 2-2. ラベル要素 | 注意： P102 子どもの手の届かない場所に保管する。 P301+P310 飲み込んだ場合：口をすすぎ、吐かせないこと。直ちに医師の診察を受ける 特定の混合物に関する特別なラベリング： EUH066 繰り返し暴露すると、皮膚乾燥またはひび割れを引き起こす可能性。 EUH208 リモネン（オレンジ油）、コバルト（2+）塩が含まれ、アレルギー反応を引き起こすところがある。 | | | |
| 2-3. その他の危険 | 塗装時に使用したウエス、刷毛、研磨パッド、スポンジ等は、植物油の吸収によって自然発火の危険性があるため、密閉した金属容器又は、水に浸してから処分する。 製品自体は自然発火しない。 換気が不十分な状態で使用すると、爆発性／可燃性混合物が発生する事がある。 | | | |

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 3. 組成及び成分情報 | | |
| 3-2. 化学的特性 | 化学的特性 | <p>全成分： イソアリファーター、アマニ油、アマニスタンドオイル天然樹脂エステル、アマニスタンドオイル、オレンジオイル、ビーズワックス、マイクロワックス、カルナバワックス、パインオイル、ローズマリーオイル、エタノール、アルミナ、無鉛乾燥剤 (Co,Mn,Zr)</p> |
| | 有害成分 | <p>イソアリファーター (Isoaliphate)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CAS No.90622-58-5 ・ EC No.918-167-1 ・ REACH No.01-2119472146-39 ・ (EC)No.1272/2008[CLP]準拠に従って分類： Asp.Tox.1:H304 ・ 割合 50~<70% <p>※ H と EUH 書類に関する全文は、セクション 16 を参照</p> |
| 4. 応急処置 | | |
| 4-1. 応急処置の説明 | 吸入 | 新鮮な空気のある場所で安静にする。気道に刺激がある場合は、医師の診察を受ける。 |
| | 皮膚接触 | 水と石鹼で洗い流す。 |
| | 目に入った場合 | 汚れた服を脱ぎ、再利用する場合は、洗ってから使用する。 すぐに大量の流水で慎重かつ十分に洗い流す。刺激が残る場合は、眼科医で診察を受ける。 |
| | 飲み込んだ場合 | 無理に嘔吐させない。直ちに医師の診察を受ける。 |
| 4-2. 重要な症状と影響 (急性・遅発) | 入手可能な情報なし | |
| 4-3. 医師の診察と特別な治療 | 病状により処置する。 | |
| 5. 火災時の措置 | | |
| 5-1. 消火剤 | <p>適切な消火剤： 二酸化炭素 (CO2)、消火粉末、水噴霧ジェット。火災部周辺に消火対策を施す。</p> <p>不適消火剤：ウォータージェット</p> | |
| 5-2. 物質/混合に伴う特別な危険性 | 塗装時に使用したウエス、刷毛、研磨パッド、スポンジ等は、植物油の吸収によって自然発火の危険性があるため、密閉した金属容器又は、水に浸してから処分する。製品自体は自然発火しない。 | |
| 5-3. 消防士へのアドバイス | 火災の際は、自給式呼吸器を着用する。 | |
| 追加情報 | 水噴霧ジェットは、人体の保護、危険にさらされた容器の冷却に使用する。汚染した消火用水は別で回収する。排水溝や地表に放置することはできない。 | |

| | | |
|-------------------------------|--|--|
| 6. 漏出時の措置 | | |
| 6-1. 人体に対する予防措置、 保護具及び緊急処置 | 防護服を使用する。 十分な換気を行う。 | |
| 6-2. 環境に対する予防措置 | 地表や排水へ製品を排出してはならない。 | |
| 6-3. 洗浄の方法・材料 | 液体結合性材料（砂、珪藻土、酸、結合剤等）で吸収させる。 廃液は地域条例に従って廃棄する。 | |
| 6-4. 他章の参照 | 安全な取扱い：第7章を参照してください。 保護具：第8章を参照してください。 廃棄：第13章を参照してください。 | |
| 7. 取扱い及び保管上の注意 | | |
| 7-1. 取扱い上の注意 | 安全な取扱いに関するアドバイス： 容器は密閉する。 十分な換気を行う。 火災及び、爆発防護に関するアドバイス： 発火源から遠ざける（喫煙厳禁）。熱から遠ざける。 | |
| 7-2. 安全な保管の条件 | 保管室と容器の必要条件： 涼しく、換気の良い場所で保管する。 熱から遠ざけること。 安全な保管に関するアドバイスと条件： 特別な処置は必要ありません。 | |
| 7-3. 具体的な使用用途 | 内装用木部（家具、フロアなど） オイル塗装されたフロア、家具の保護、メンテナンス用 蜜蝋オイルワックス | |
| 8. ばく露防止及び保護措置 | | |
| 8-2. 露出制限・管理 | 保護と衛生対策 目と顔の保護 手の保護 皮膚の保護 呼吸の保護 | 汚れた衣類を脱ぐ。 休憩前と作業の後はよく手を洗う。 作業中は飲食を避ける。 保護メガネを着用する 化学物質を取り扱う際は、化学薬品に強い保護手袋を着用する。 具体的な作業場所での化学物質の濃度、量により機能的に選択する。特別な使用方法に関しては、保護手袋の供給業者と共に、化学物質の耐性チェックを行うことを推奨する。 防護服を着用する。 換気が十分でない場所では、呼吸用保護具を着用する。 |

| | | |
|-------------------|-------------------------|--------------------------------------|
| 9. 物理的及び化学的性質 | | |
| 9-1. 物理的情報 | 形 状 | 液体 |
| | 色 | 透明 |
| | 匂 い | 独特 |
| | pH 値 | 該当なし |
| | 沸点/沸点範囲 | >100℃ |
| | 引火点 | >61℃ |
| | 可燃性 | |
| | 固体 | 該当なし |
| | ガス | 該当なし |
| | 爆発性 | 換気が不十分な状態で使用すると、爆発性／可燃性混合物が発生する事がある。 |
| | 爆発範囲 | |
| | 下限 | |
| | 上限 | |
| | 発火温度 | >200℃ |
| | 自然発火温度 | |
| | 固体 | 該当なし |
| | ガス | 該当なし |
| | 熱分解温度 | 未定 |
| | 酸化特性 | データなし |
| | 蒸気圧 | 未定 |
| 比 重(20℃) | 0.84 g/cm ³ | |
| 水溶性 | 不溶性 | |
| その他の溶媒に おける溶解度 | 未定 | |
| 分配係数 | 未定 | |
| 蒸気密度 | 未定 | |
| 蒸発速度 | 未定 | |
| 9-2. その他の情報 | | 入手可能な情報なし |
| 10. 安定性及び反応性 | | |
| 10-1. 反応性 | 規定に従って処理・保存において有害な反応なし。 | |
| 10-2. 化学的安定性 | 通常の周囲温度で安定して貯蔵できる | |
| 10-3. 危険反応 | 既知の有害な反応はありません。 | |
| 10-4. 回避条件 | 熱から遠ざける。 | |
| 10-5. 互換性の無い材料 | 酸と混ぜない。強酸化剤 | |
| 10-6. 有害な分解生成物 | 有害な分解生成物は知られていない。 | |

| | | |
|----------------------|-----------------------|--|
| 11. 有害性情報 | | |
| 11-1. 毒物学的作用の情報 | 急性毒性 | <p>利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。</p> <p>化学名：イソアリファーター (Isoaliphate)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CAS No.90622-58-5 ・ 暴露経路：経口 ・ 対象種：ラット ・ LD50：>5,000mg/kg ・ 暴露経路：皮膚 ・ 対象種：ラビット ・ LD50：>5,000mg/kg |
| | 腐食／刺激効果 | 利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。 |
| | 過敏性 | 利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。 |
| | STOT-単独暴露 | 利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。 |
| | 長期影響 | 利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。 |
| | 発がん性・変異原性・毒性 | 利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。 |
| | 呼吸器有害性 | 利用可能なデータに基づいて、分類基準を満たしていない。 |
| 12. 環境影響情報 | | |
| 12-1. 毒性 | 魚に対する毒性 | <p>製品はテストされていない。</p> <p>化学名：イソアリファーター (Isoaliphate)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象種：魚 ・ LC50：>1,000mg/l ・ 暴露時間：96h |
| | 藻類に対する毒性 | <p>化学名：イソアリファーター (Isoaliphate)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象種：藻類 ・ ErC50：>1,000mg/l ・ 暴露時間：72h |
| | 甲殻類に対する毒性 | <p>化学名：イソアリファーター (Isoaliphate)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象種：オオミジンコ ・ EC50：>1,000mg/l ・ 暴露時間：48h |
| 12-2. 残留性及び分解性 | 製品はテストされていない。 | |
| 12-3. 生体内蓄積の可能性 | 製品はテストされていない。 | |
| 12-4. 土壌中の流動性 | 製品はテストされていない。 | |
| 12-5. PBT と vPvB の評価 | 製品はテストされていない。 | |
| 12-6. その他の悪影響 | 入手可能な情報なし | |
| 詳しい情報 | 排水溝や土壌にそのまま廃棄してはならない。 | |

| | | |
|---|--|---|
| 13. 廃棄上の注意 | | |
| 13-1. 廃棄物処理 | 推 奨 | 排水溝や土壌にそのまま廃棄してはならない。 廃液は地域条例に従って廃棄する。 |
| | 汚染した梱包 | 大量の水で洗う。空の容器は再利用することができる。 |
| 14. 輸送上の注意 | | |
| 陸上輸送 (ADR/RID) | | |
| その他の該当する情報 | 輸送規制に該当する危険物ではありません。 | |
| 内陸水路輸送 (ADN) | | |
| その他の該当する情報 | 輸送規制に該当する危険物ではありません。 | |
| 海上輸送 (IMDG) | | |
| その他の該当する情報 | 輸送規制に該当する危険物ではありません。 | |
| 航空輸送 (ICAO) | | |
| その他の該当する情報 | 輸送規制に該当する危険物ではありません。 | |
| 14-6. ユーザーの為の特別な 注意事項 | 入手可能な情報なし | |
| 14-7. マルポール条約 73/78 付属書 II 及び IBC コードに よるばら積み輸送 | 適用なし | |
| 15. 適用法令 | | |
| 15-1. 安全・健康及び環境に 関する法令/物質または混合 物に関する特別法 | EU 規制情報：2010/75/EU (VOC)：59% (496g/l) 追加情報：850/2004/EC, 79/117/EEC, 689/2008/EC 水質汚染クラス (D)：2-水の汚染 | |
| 15-2. 化学物質安全性評価 | 混合物の安全性評価は行っていない。 | |
| 16. その他の情報 | | |
| H と EUH に関する記述 | H304 飲み込んで気道に入ると生命に危険の恐れ EUH066 繰り返し暴露すると、皮膚乾燥またはひび割れを引き起こす可能性。 EUH208 リモネン (オレンジ油)、コバルト (2+) 塩が含まれ、アレルギー反応 を引き起こすところがある。 | |
| 備 考 | 当 SDS にて提供される情報は、現在知りうる知見、事例、公表されたデータを基にしたものである。当 SDS は製品の安全な取扱い、使用、保管、運搬の指導を目的としたもので、保証や品質の仕様を約束するためのものではない。この情報は他の製品に転用することは出来ない。当 SDS は製品の詳細と、混合することが推奨されない物質や、推奨されない作業に関連した情報である。当 SDS は安全面に関する情報だけを含み、製品情報または製品仕様書ではない。 | |